

令和3年度 第2回 大槌町地域公共交通会議

議 事 録

日時：令和3年11月8日(月) 14:00～15:30

場所：大槌町役場庁舎 3階 大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 協議事項
報告第1号 (仮称)大槌町地域公共交通計画(案)について・・・資料1～3
報告第2号 (仮称)大槌町乗合タクシー実証運行事業について・・・資料4～5
- 4 その他
- 5 閉 会

配布資料

- ・次第
- ・【資料1】調査結果について
- ・【別紙1】大槌町の公共交通に関するアンケート調査報告書
- ・【資料2-1】現行計画の目標と達成状況
- ・【資料2-2】現行計画の取り組み状況
- ・【資料3】(仮称)大槌町地域公共交通計画 骨子(案)
- ・【資料4】(仮称)大槌町乗合タクシー実証運行事業について
- ・【別紙2】(仮称)大槌町乗合タクシー実証運行計画 (案)
- ・【資料5】会議等スケジュール(案)

出席者

出席委員

(敬称略)

会長	大槌町副町長	北 田 竹 美
副会長	大槌町行政連絡員協議会長	小 林 徳 雄
委員	岩手県交通株式会社乗合自動車副部長	山 下 剛 毅
	大槌地域振興株式会社代表取締役社長	澤 山 重 夫
	岩手県タクシー協会釜石支部支部長	岩 崎 松 生
	社団法人岩手県バス協会事務局長	鈴 木 一 成
	岩手県交通運輸産業労働組合協議会岩手県交通労働組合執行委員	藤 井 知 行
	大槌商工会事務局長	村 田 仁
	国土交通省東北運輸局岩手運輸支局首席運輸企画専門官	小 野 寺 実
	岩手県沿岸広域振興局経営企画部企画推進課特命参事兼企画推進課長	大 釜 範 之
	岩手県警察釜石警察署交通課長	松 舘 茂 雄
	国土交通省東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所工務課長	阿 部 千 枝
	岩手県沿岸広域振興局土木部道路整備課長	山 本 純 一
	三陸鉄道株式会社旅客営業部シニアリーダー	三 浦 芳 範
	大槌町技監兼地域整備課長	那 須 智
	大槌町協働地域づくり推進課長	郷 古 潔
	大槌町健康福祉課長 代理 健康福祉課 主幹	岩 間 純 子

欠席委員

	国土交通省東北運輸局岩手運輸支局首席運輸企画専門官	馬 場 真 也
	岩手県公安委員会岩手県警察本部交通部交通規制課長	佐 藤 普
	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社総務部企画室地域連携推進室長	松 野 文 一
	岩手県立大学総合政策学部准教授	宇 佐 美 誠 史

事務局

	大槌町企画財政課長	太 田 和 浩
	大槌町企画財政課企画政策班長	太 田 信 博
	大槌町企画財政課企画政策班主査	阿 部 司
	大槌町企画財政課企画政策班主事	佐 々 木 一 樹

(14時00分開始)

【協議事項】

報告第1号 (仮称) 大槌町地域公共交通計画(案)について

(資料1～2-1を説明)

■小林委員

震災後、安渡、赤浜、吉里吉里地区は高台に多く家が建っている。高台の人たちが不便だという声を聞いている。乗合タクシー事業は是非実施して欲しい。

■会長

高台の人が不便を感じているということだが、調査結果ではどこで分かりますか？

■事務局

資料1の図1、自宅からバス停までの徒歩時間のところ。吉里吉里・浪板地区や安渡地区などは10分以上かかる割合が多くなっている。

■山下委員

利用者の意識調査の中で、改善希望として接続をよくしてほしいという意見が多くなっているが、どの便か後ほど教えてもらえれば。

■会長

了解しました。よろしくお願いします。

■岩間委員

アンケート回収率と有効回答率は同じか？

■事務局

同じです。

■澤山委員

浪板地区は三鉄を使って山田に行く人がいるということだが、公共交通はどこまでが範囲なのかと考えてしまう。高齢者はバス停に来るまでに時間がかかるのでタクシーを頼むということだが、これに対してどのように対応したらよいか。

■会長

公共交通網については大槌町で考えるが、浪板の人が山田に行こうが、釜石に行こうが自由だと考える。ただし、大槌町としては、さまざまなアイデアを出し合って暮らしに便利な交通を考えていく必要がある。

(資料2-2の説明)

■会長

プロジェクト2は、実施済みだが「見直し継続」となっているのはどういうことか？プロジェクト名は変えた方がいいのではないかと。

■事務局

プロジェクト2の町民バス（金沢赤浜線、小鎚浪板線）の再編について、プロジェクトとしては実施済みであるが、今後も町民バスは利用状況等を踏まえ見直す必要があるため、「見直し継続」としている。

■会長

マイレール運動について、三鉄の現状を紹介いただければと思うが。

■三浦委員

新型コロナの影響もあり、利用状況が悪かったが、今年になって少し利用状況は回復したが、山田線が移管されたスタートダッシュ時は車両がほぼ満席状態だった。台風もあり、コロナもあり、回復するのが難しい状況となっている。三鉄協の取り組みとして、お絵かき列車で保育園の方が利用しているが、現在はコロナもあり利用できない状況となっている。代わりに、三鉄の写真を載せたものを保育園に送り、絵をかいてもらうなどの取り組みをした。沿線の各学校の皆さんにも働きかけているが、回復には遠い。利用促進をしながら、半額補助も続けているので、効率よく使っていただきたいと考えている。

(資料3の説明)

■岩崎委員

8ページの福祉タクシー助成券の利用率はどうなっているか。

■事務局

9月末までで交付件数が11件、交付枚数が198枚である。

報告第2号（仮称）大槌町乗合タクシー実証運行事業について

(資料4の説明)

■藤井委員

対象地区は黄緑色のエリアが対象地区ですか？

■事務局

明確に線を引くことはできないので、黄緑色は不便地域で、対象は青線のエリアである。

■岩間委員

地区内から地区外へ出る場合、地区内はどこか？一人でも 500 円か？

■事務局

地区外は主要施設として駅や病院、商業施設を指定停留所と位置付ける。地区内は事前登録になるので、乗降場所を設定する。一人でも 500 円で運行する。

■山下委員

本運行に関して車両は準備するのか？運賃は割引なしで一律 500 円か？

■事務局

事業者と調整中だが、既存の車両（普通車とジャンボタクシー）を使用する。運賃は割引なし、一律 500 円で進めている。

■岩崎委員

数年前からデマンドの話はあった。震災から 10 年経っているなのでその分、年を取っている。その意味でも私たちが役に立てたらいい。地域の人にも喜ぶと思う。

対象者について、自動車運転免許を持っていると乗れないことになるか？

■事務局

65 歳以上の方は免許を持っていても対象となる。

■小野寺委員

今回大槌町では初めて実証実験を始めるということだが、東北運輸局も東北の各自治体で取り組んでいる場合の成功例や失敗例の調査を行っている。デマンドタクシーの部分についてもそのような情報を持っているので提供させていただきたい。

■小林委員

バス停まで遠く不便な人が相当多い。町民のためにぜひ実行して欲しい。

5. その他

(資料 5 の説明)

■小野寺委員

説明したスケジュールによると次回の会議では交通計画素案が出ると思うが、出来るだけ早めに委員の皆様へ事前配布し、しっかりと読んでもらい活発な意見が出るよう準備をお願いしたい。

(15:30 終了)